※令和４年度以降入学生用

学校番号	3005

令和５年度　建築科

教科	工業科	科目	建築製図	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「建築設計製図」（実教出版）						
副教材等	「新しい建築の製図」（学芸出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

製図は建築を学ぶうえで基本となるものです。最初は主に見本をトレースしますが、建築物を正しく理解していないと上手く描画できません。教科書や配布プリントの断面パースなどから、各部材がどのように納まっているのかを事前によく学習してください。
製図作成のルールや指示、注意点などをしっかり聞いてから、取り組んでください。
指示や注意、気づいたことは教科書に書き込んでください。

２　学習の到達目標

・図面をトレースしながら製図の基本を学習し、建築の知識やデザイン、部材の寸法など、座学で学んだ内容を理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
・木造２階建て住宅、鉄筋コンクリート造事務所ビルのトレースを通して、製図規約や構造、法規など理解しながら判断し、表現・作図できる。
・建築製図について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して建築設計製図に関する基本的な概念を理解し、各種建築工事における設計図書の意義や役割、作図手順などの知識・技術を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法で的確に表現する力を身につけている。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計製図の意義や役割を理解しようとしている。諸問題の解決をめざして、主体的に学習に取り組むとともに建築技術者としての望ましい心構えや態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	木造２階建て住宅	・平面図 ・立面図 ・断面図	a:各図における設計条件や設計の要点を身につけ、正確で美しい線で描くことができる。 b:製図の基礎的・基本的な知識を習得して適切に思考・判断ができる。 c:知識の理解に意欲的に取り組み、考察しようとしている。	提出物 (製図)	提出物 (製図)	学習状況 提出物 (製図)
	木造２階建て住宅	・矩計図	a:矩計図における設計条件や設計の要点を身につけ、正確で美しい線で描くことができる。 b:矩計図の基礎的・基本的な知識を習得して適切に思考・判断できる。 c:矩計図の知識の理解に意欲的に取り組み、考察しようとしている。	提出物 (製図)	提出物 (製図)	学習状況 提出物 (製図)

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	鉄筋コンクリート造事務所ビル	・平面図 ・立面図 ・断面図	a:各図における設計条件や設計の要点を身につけ、正確で美しい線で描くことができる。 b:製図の基礎的・基本的な知識を習得して適切に思考・判断ができる。 c:知識の理解に意欲的に取り組み、考察しようとしている。	提出物 (製図)	提出物 (製図)	学習状況 提出物 (製図)
	鉄筋コンクリート造事務所ビル	・矩計図	a:矩計図における設計条件や設計の要点を身につけ、正確で美しい線で描くことができる。 b:矩計図の基礎的・基本的な知識を習得して適切に思考・判断できる。 c:矩計図の知識の理解に意欲的に取り組み、考察しようとしている。	提出物 (製図)	提出物 (製図)	学習状況 提出物 (製図)

※令和４年度以降入学生用

	鉄筋コンクリート造小住宅の設計	・エスキス ・配置図 ・各階平面図 ・立面図 ・断面図 ・建築概要	a:住宅設計についての基礎知識を身につけ、総合的理解を深めている。建物の配置や間取りなど、住宅について設計する技術を身につけている。 b:住宅設計について深く思考し、表現している。 c:住宅設計について関心を持ち、粘り強く意欲的に学習に取り組もうとしている。	提出物	提出物	学習状況 進行状況

表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度